

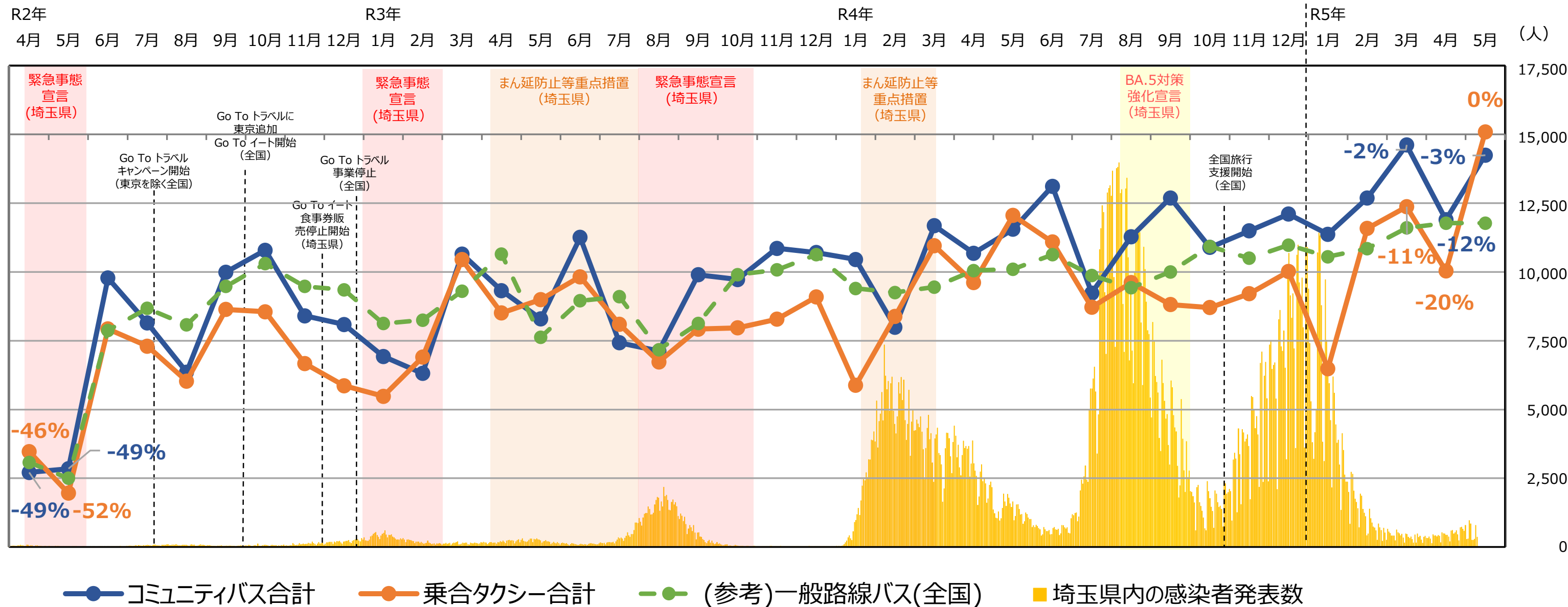
コミュニティバス等の利用状況について

バス4

1. 新型コロナウイルス感染症によるコミュニティバス等への影響

- ・コミュニティバス、乗合タクシーの利用者数をR1年同月と比較すると、R2年4月以降のほとんどすべての月で減少している。
- ・政府による行動制限がなかったR4年4月以降については、R5年5月は前年度程度まで回復したが、他の月は10～30%程度減少している。
- ・新型コロナウイルス感染症の位置づけがR5年5月8日から「5類感染症」に移行した。

○利用者数の増減割合（R1年同月比）



※1 「(参考) 全国(一般路線バス)」は『新型コロナウイルス感染症による 関係業界への影響について (R3年2月末時点～R5年4月末時点) (R3年3月～R5年5月、国土交通省)』
R5年5月8日以降の新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、R5年5月以降のデータの公表なし

※2 「埼玉県内の感染者発表数」はNHKが各自治体や公的機関の発表数値を基にまとめている「都道府県ごとの感染者数の推移」のデータを基に作成
新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、令和5年5月8日以降のデータの公表なし

※3 休日運行の利用者数は集計に含めていない。(西区・岩槻区：H31年1-3月、岩槻区・見沼区：R3年6月)(コミュニティバス)

※4 実証運行の利用者数は集計に含めていない。(見沼区片柳西地区、北区吉野町地区、桜区大久保・中央区西与野地区)(乗合タクシー)

※5 並木・加倉地区のH31年1月の運行日数は3日のみであるため、R3年1月、R4年1月の値は並木・加倉地区を集計対象から除外している。(乗合タクシー)

※6 岩槻区柏崎・美幸町地区の利用者数は集計に含めていない。(AIデマンド交通)

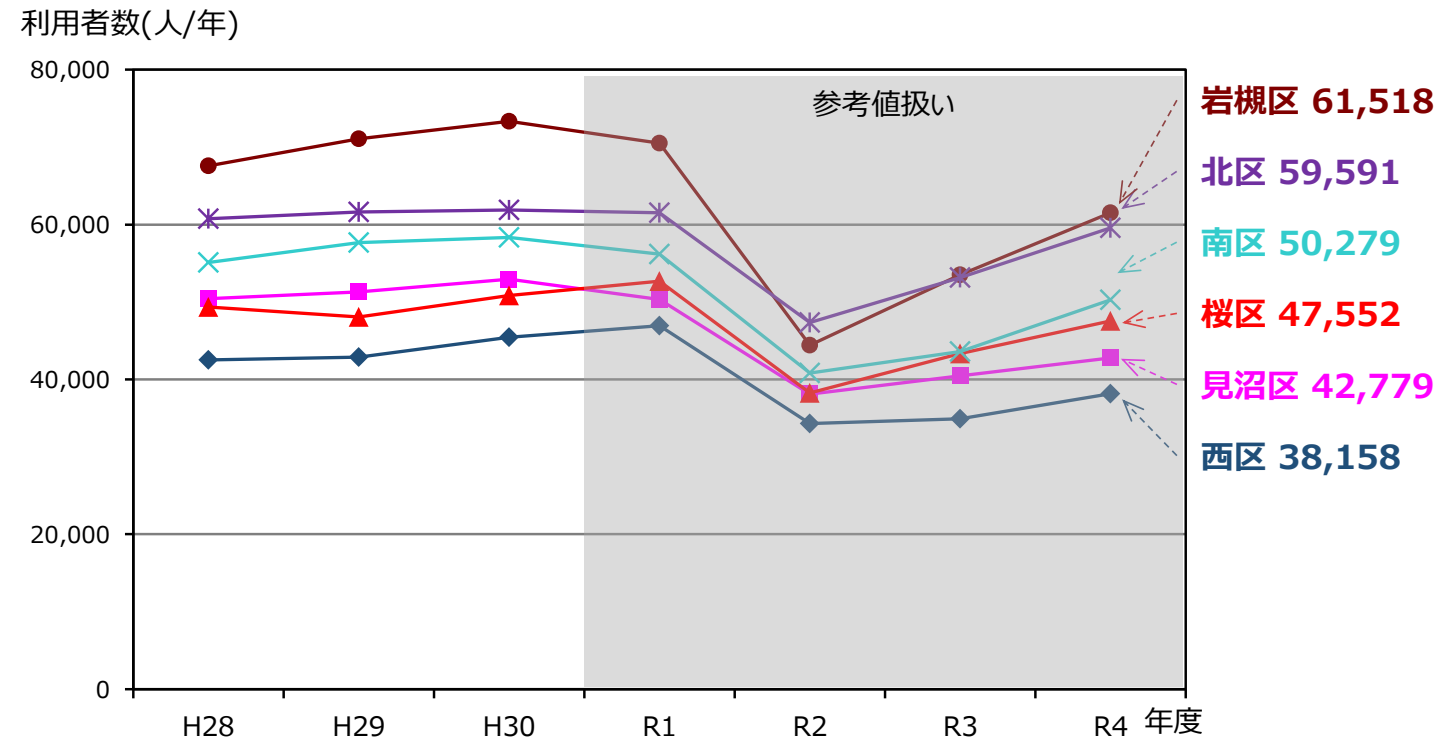
コミュニティバス等の利用状況について

2. 年間利用者数・収支率の推移 (H28年度 - R4年度)

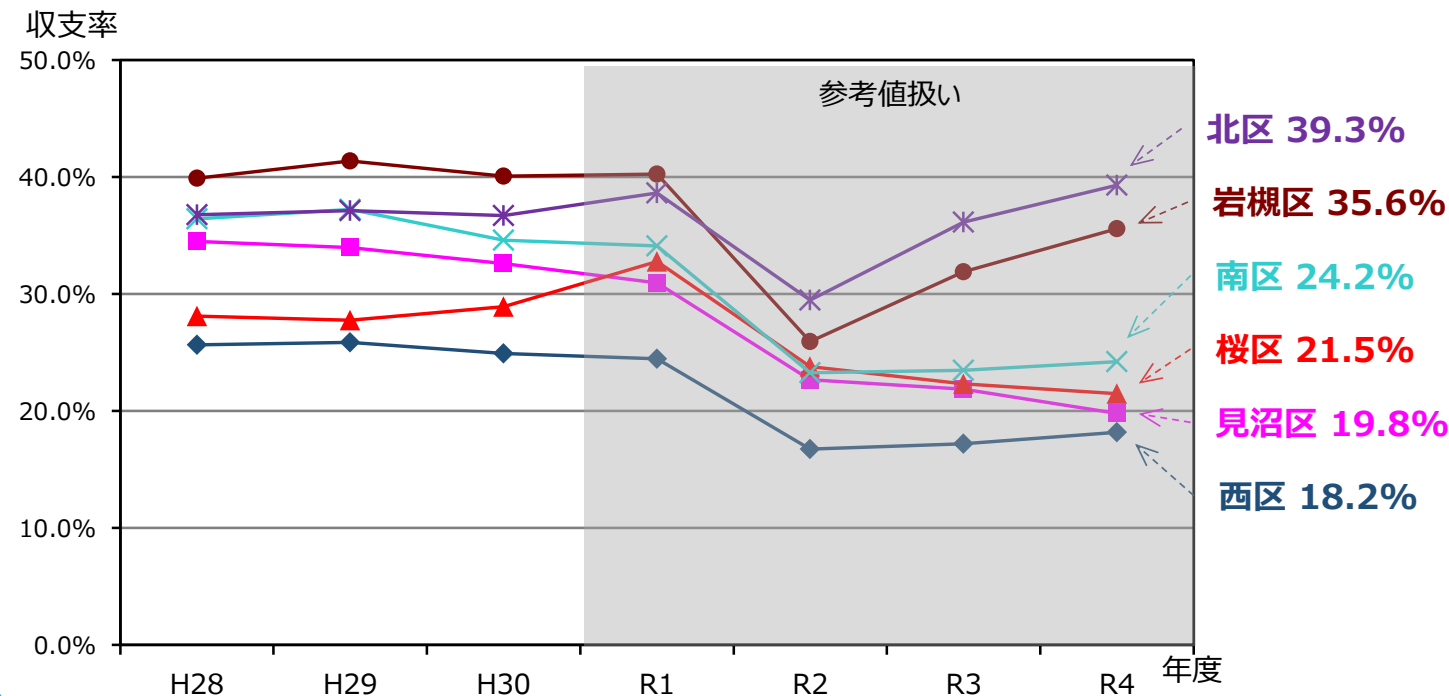
- R3年度からR4年度にかけて利用者数は増加（乗合タクシー-西区指扇地区を除く）、収支率は増加している地区と減少している地区がある。
- R4年度の収支率について、コミュニティバスでは18.2%~39.3%、乗合タクシーでは5.9%~39.3%となっている。
- R5年3月の地域公共交通協議会において、R1年度~R4年度と同様にR5年度の収支率等を参考値扱いとすることが決定している。

コミュニティバス

○年間利用者数の推移 (H28年度 - R4年度)

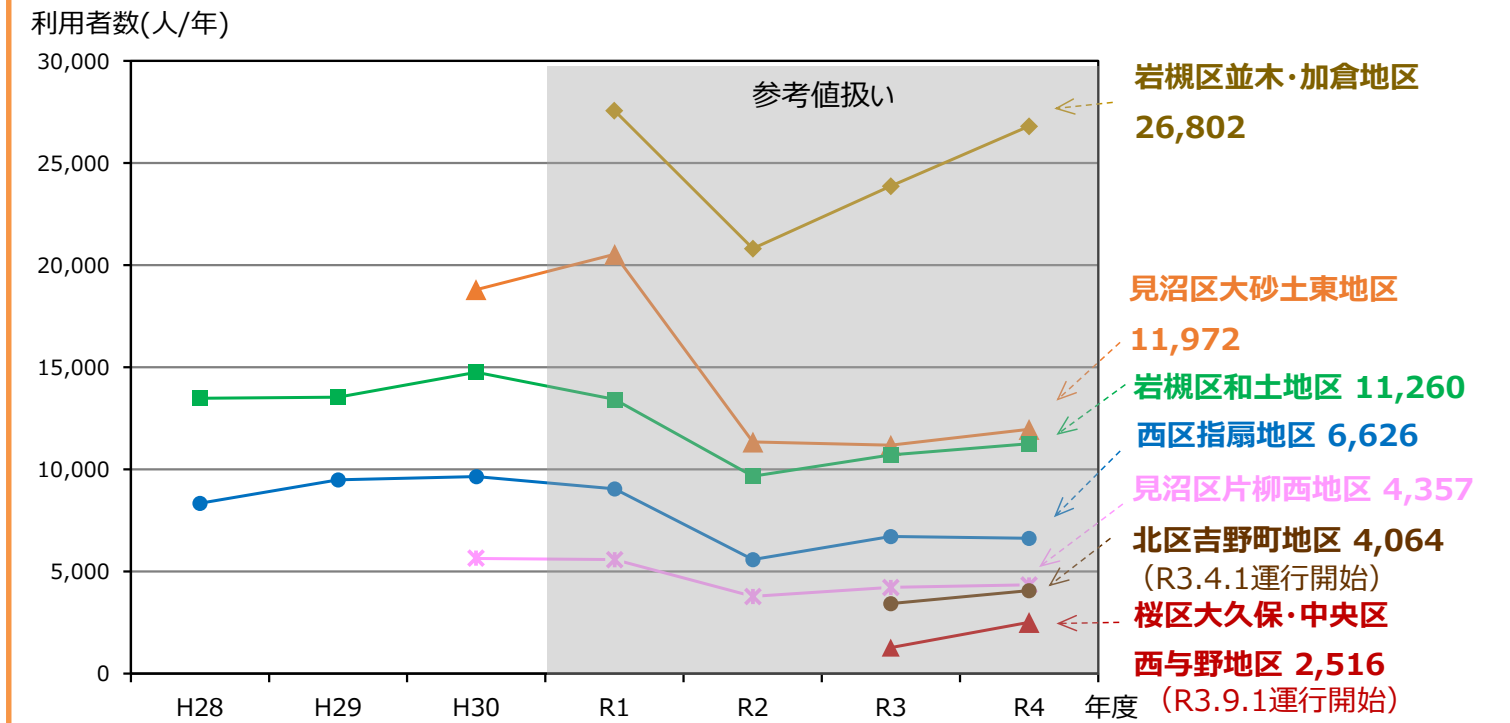


○収支率 (実績) の推移 (H28年度 - R4年度)

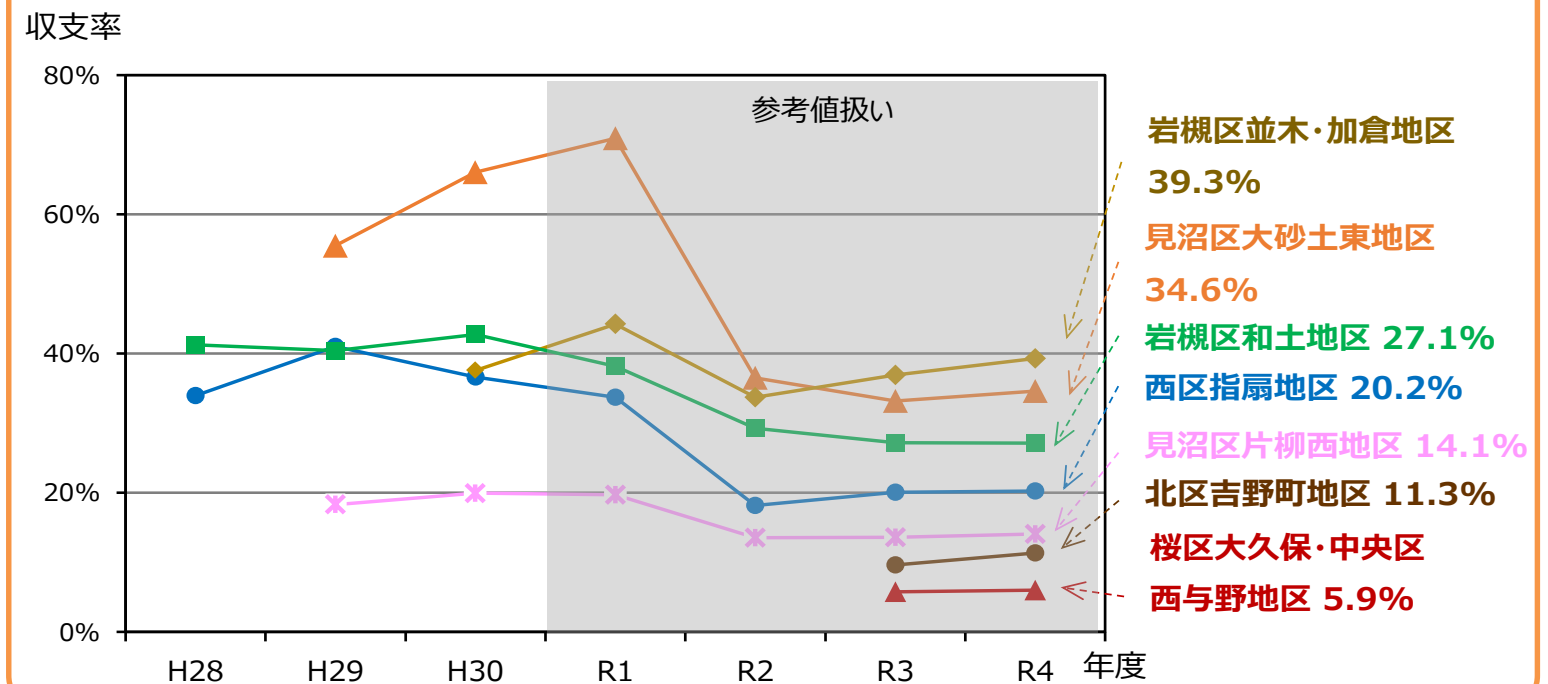


乗合タクシー

○年間利用者数の推移 (H28年度 - R4年度)



○収支率 (実績) の推移 (H28年度 - R4年度)



※1 休日運行の利用者数は集計に含めていない。(西区・岩槻区: H31年1-3月、岩槻区・見沼区: R3年6月)
 ※2 収支率 = 運賃収入(実績) ÷ 運行経費(運行経費には車両償却費等は含まれない)